



ふれあいの道(大府駅西)～太陽と緑と元気な子供たち～

第5回 共和病院地域医療シンポジウム

平成14年5月18日、「共和病院地域医療シンポジウム」を開催しました。このシンポジウムは平成10年より地域の行政・福祉・医療の関係各機関および当会のスタッフを対象としてスタート、回を重ねるたびに内容も充実し今年で5回を数えるまでになりました。

記念講演では、星城大学リハビリテーション学部助教授の山田恭子先生による「精神障害者リハビリテーションと作業療法」があり、これまでの理論と歴史を踏まえて、リハビリテーションの定義のなかで、障害を機能・形態障害、能力障害、社会的不利の3レベルに分けて総合的に捉えるICIDH(国際障害分類)クライアントの状態を心身機能・構造、活動、参加と捉えさらに環境因子を加えたICF(生活機能・障害・健康の国際分類)を紹介され、他にも作業療法の機能やクライアントのQOLを情緒的幸福、対人関係、物質的幸福、個人の発達、身体的幸福、自己決定、社会参加、権利の8つの側面に分類し、時折実践経験などを交えてクライアントの評価と作業分析が大切であること、作業療法士はクライアントの動作から生活障害を捉える視点が重要であるとお話しされ、最後は手話コースで四季の歌を会場と大合唱しました。

一般演題では、当会より2題、老年期閉鎖病棟の「問題行動が顕著な患者の身体拘束廃止を終えて～諦めない看護から学んだもの～」、訪問看護ステーションソレイユの「寄り添う」看護を考える～在宅療養が困難となったケースを通して～」が発表されました。その中

でスタッフの苦悩や葛藤がありながらも、身体拘束の廃止には慎重論をやめ、まずは取りかかる努力が必要であること、スタッフの意思統一、家族への十分な説明と協力が不可欠であるという報告がなされました。またステーションの発表では、在宅で安定した療養生活を送ったり適切な医療の提供にとどまることなく、日常のケアの中から生きる力となるものを見つけだし援助していくことや、本人、家族の心の支えとなりえる寄り添う看護が大切だという報告がなされました。どちらも昨今なにかと話題上ることの多いテーマを題材に患者さまのリビングウィルに重点を置いた寄り添う看護の取り組みと成果の報告でした。また、知多保健所からは「地域での精神障害者保健福祉事業の定着と拡充に向けて」といテーマで精神障害者保健福祉事業の仕組みや社会資源の紹介、個別相談とケアマネジメントの実践を実例をもとに紹介され、利用者を支えるために地域のネットワーク作りがいかに大切かお話しいただきました。

全体の討論ではフロアの活発な質問・意見が多く寄せられ、盛況な内に幕を下ろしました。また、シンポジウムを支えてくれた多くの方々の努力や協力に報いるためにもこれからも努力していきたいと思っています。



山田恭子先生



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

TOPICS・EVENT

精神保健福祉 ボランティア講座

精神保健福祉のためのボランティア講座は、平成10年6月に開始され、今年で5回目になります。当時、県内でもまだそれほど多くは開催されていなかった精神保健福祉の分野での市民向けボランティア講座を積極的に取り上げたのは大府市社会福祉協議会でした。ボランティア活動が注目されて久しいのですが、阪神・淡路大震災や福井沖タンカー沈没などで市民ボランティアに対する意識が高まりを見せたことは記憶に新しいと思います。

＊

～大府市のケース～

大府市も含め、この地域での精神障害者に対する一般市民の方々に対しての知識の普及は急務でした。なぜなら、精神障害の方々が増えているからです。地域で暮らす以上、色々な形で近隣の方々と接する機会が多くなります。なるべく多くの方々に精神障害の人たちのことを理解していただきたいと願っていたとき、大府市社会福祉協議会より精

神保健福祉ボランティア講座の企画が届けられました。その内容は保健所・市役所などの行政機関からの地域保健活動や制度の紹介、共和病院からは医療や福祉のこと、そして作業所や社会復帰施設からは地域福祉の実践を講座の中で紹介し、学習の機会を提供していくというものでした。内容はかなり高度で、これだけの内容を用意しているところはまだ数少ないと思います。受講者は年々増加し、ちなみに今年は50名を超えています。この近隣でこれほどの内容を持つ精



受付を担当していただいたボランティアグループ「ひまわり」の皆さん

社会資源の充実にとって、このボランティアグループの存在が欠かせないものとなってきています。ボランティ

ア講座を通じて市民の方々の精神障害者に対する差別と偏見が少しでも無くなることを願っています。

＊

～大府市社会福祉協議会より～

社協の杉田さんにお話を伺いました。「毎年5月～6月にかけて開催し、回を重ねるたびに内容も充実し、参加者からは好評を得ています。この地域は社会資源も充実し、ボランティア講座には関係

機関やボランティアグループの協力が重要になってきています。また、視点が市民の方々と同じ高さになるような工夫をし、ボランティアの輪を広げていこうという思いで開催しています。」ということでした。



神保健福祉ボランティア講座は開催されていないので、大府市以外からの参加者も多くみえます。

＊

～ボランティアグループ～

大府市内には精神医療や地域福祉の社会復帰施設、地域家族会があります。しかし特筆すべきは精神保健福祉ボランティアグループ「ひまわり」が誕生したことです。精神保健福祉ボランティア講座受講をきっかけに、平成10年に結成、地域に根ざし継続した活動が続いています。この地域の



講師の榎本院長

お問い合わせ先

〒474-0026
大府市桃山町五丁目180-1(福祉会館内)
大府市社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL(0562)48-1805

FAX(0562)46-9560

Eメール obu-fuku@ma.medias.ne.jp

地鎮祭



平成14年5月10日、共和病院増築・改修工事（第1期）の平成15年7月末竣工と基礎工事に関わる平安無事、工事期間中の安全を祈念、祈願し、地域住民代表、地域事業所代表の方々をお招きし施主の共和会、設計監理会社の山下設計、施工業者大林組列席のもと、旧職員東駐車場にて地鎮祭が厳かに執り行われました。

21世紀に地域に根ざした良質な医療を提供させていただくため、患者さまのアメニティー向上と高齢者の方々を対象とした病棟を建設することとなりました。療養をされている患者さま、地域に住む心を病んだ方々、高齢者の方々のためにより良い病院となるべく実施させていただくプロジェクトですので、近隣の皆様をはじめ患者さまやご家族の方々のご理解、ご協力が是非とも必要になって参ります。今回の工事へのご理解、ご協力をお願いいたします。また、病棟機能や概要などの詳しい報告は後日この誌面を借りて、改めて紹介させていただきます。



愛精協男女混成ソフトボール大会

6月9日、愛精協男女混成ソフトボール大会が開催されました。このソフトボール大会は歴史が古く、主催者の方もいつから始まったのか記憶が定かでないということでした。（因みに昨年は50周年記念大会でした）今回県内より14チームが参加し、トーナメント方式で勝敗を競いました。我がチームは大会に向け週1回の練習を計5回行い大会に挑みました。練習ではY主将を中心にノックの雨を降らし、バッティングでは手にまめが出来るくらい行いました。さすがに女性陣は経験者が少なく練習はきつかったかもしれません。ある時はボールを頭に当てたり、足に当てたり



と少々可哀想でしたが、「1回は勝とうやないか!」Y主将のこんな一言でみんな頑張りました。そして運命の第1戦、相手は強豪和合病院。試合は大接戦の末、見事勝ちました。これで目標の1勝は達成しました。しかし、ここからが本当のドラマの始まりでした。次の試合は上林病院、当院が猛打爆発で勝ち、次の対戦相手は昨年優勝の岡田病院。予想通りというか前半から点を取られ7点のビハインド。しかしここから粘り、追撃して最終回を3点差で2アウト満塁、1打サヨナラ逆転満塁ホームランの絶好の好機にバッターY主将。しかし全員の声援及ばずゲームセット!Y主将の胸中や如何に…。しかし、この試合には負けましたが、3位決定戦では見事勝ち、当院は3位という優秀な成績を収めました。そして、握力が無くなりながら力投したNさん、取れそうもないボールを必死に追いかけて転倒、足をすりむいたIさんとAさん。またO監督は、痛い膝を引きずりながらホームまで激走した姿、みんな1日頑張り充実感でいっぱいでした。そして全員で1つの目標に向かって頑張るエネルギー、共和病院職員にはこんな一面もあります。このエネルギーを患者さまに注ぎ続けます。「来年は優勝するぞー!オー!!」

世話係N

今回は都合により「子育てノウハウは」お休みさせていただきます。

編集後記



ワールドカップ、凄かったですね。日本中が勝敗に一喜一憂し仕事や勉強が手に付かなかった方も多いのではないのでしょうか。それにしても世界の技・スピード・パワーの凄さに圧倒されました。選手の直向きな姿勢、勝利への執念はスーパープレイに勝るとも劣らず一種の感動すら覚えました。今まであまりサッカーに興味のなかった方も応援や観戦に熱が入ったのではないですか。厳しい予選を勝ち抜いて出場を勝ち得た国、予選リーグで敗退した国、決勝トーナメントを勝ち抜き優勝した国、歓喜

と感動、落胆、それぞれの思いは違ってもサッカーを通じて世界が一つになる時間を共有できたのではないのでしょうか。母国を応援された皆さん、密かに胸に秘めた自分の中の優勝候補国を応援された皆さん、世界を実感し一つに感じた一ヶ月だった気がします。日頃からスキルを磨き、組織力を高め、各々の役割を理解し、優れた戦術の中に生かしていく。考えてみれば私たちの何気ない日常の中にもあってはまります。選手たちに負けたくない私も日々の生活の中で自覚を持ちたいものです。

検診における 検査の目的と 見方・読み方

その②

今年も暑い季節がやって
きました。皆さまはいか
がお過ごしですか。こん
な季節だからこそ夏バテ

だと簡単に片づけず、ご自身の健康チェッ
クをしてみたいかがでしょう。また、春や秋は
検診が多く市の町村や企業で実施される季節
です。今年は住民検診や会社での検診、人間
ドックを受けられたでしょうか？毎年受診後
にもらった個人票を眺めて一喜一憂されてい
る方もみえるのではないのでしょうか？そこ
で前回に続き、感染症・免疫・X線・生理・尿
のいろいろな検査の目的と検査値の見方・読
み方について簡単に解説してみましょ

- 梅毒反応** 性行為感染症(STD)として広く知られる梅毒の検査。生物学的凝集性(本当は陰性)や治癒後も陽性として残ります。
- フェトプロテイン** 肝細胞癌で上昇する血清腫瘍マーカー。肝癌以外でも肝炎や肝硬変でも軽度～中等度に上昇をみることもある。
- PSA** 前立腺癌で著明に増加する血清腫瘍マーカー。前立腺肥大でも軽度上昇をみることもあります。
- CEA** 大腸癌、肺癌(腺癌)、胆嚢癌等で上昇する腫瘍マーカー。喫煙でも軽度上昇をみることもあります。
- HBs-Ag (HBs抗原)** B型肝炎ウイルスの現在の感染を示します。
- HBs-Ab (HBs抗体)** B型肝炎ウイルスの過去の感染を示します(陽性は治癒)。
- HCV抗体** C型肝炎ウイルスに感染中か、過去に感染したことを意味し、陽性の場合C型肝炎ウイルスの存在を確認する必要があります。
- 胸部X線検査** 肺結核、肺癌などの肺疾患や心拡大を調べます。
- 喀痰検査** 肺癌の早期発見に役立っています。
- 胃部X線検査** 食道・胃・十二指腸癌の早期発見や、潰瘍・ポリプの診断に役立っています。

- 心電図検査** 不整脈・心筋梗塞・各種心筋疾患の有無を調べます。
- 眼底検査** 高血圧・糖尿病等による眼合併症や動脈硬化の有無を調べます。
- 腹部超音波検査** 肝臓・胆嚢・腎臓など腹部の臓器の状態を調べます(残念ながら胃・小腸・大腸の情報はありません)。
- 尿検査(糖)** 糖尿病の有無を調べるスクリーニング検査です。
- (蛋白)** 腎臓疾患の有無を調べるスクリーニング検査です。
- (ウロビリ)** ビリルビンの代謝産物で、肝疾患や溶血性貧血等で陽性となります。
- (潜血)** 膀胱炎など尿路系の炎症・尿路結石・尿路系腫瘍や糸球体腎炎等腎疾患で陽性となります。
- (PH)** 通常は中性～弱酸性(食生活や激しい運動等で変動します)です。

検査値はおおよその目安で、少しくらい値が正常からはずれても、必ずしも異常や病気とはいえません。同じ検査項目でも機関によって、正常値(最近では基準値と表記する機関も増えてきました)が少し異なります。判定は、医師が全てのデータと経過をみて総合的につけます。自分で勝手に悩まず、医師などに相談してください。多くの検査は、異常の疑いのある人を選ぶためのふるい分け(スクリーニング)のためです。「要精査」と仮に指示されても、余分な心配をせず二次検査を受けてください。万が一本当に「異常」であったとしても、毎年定期的に検診を受けていれば、早期に発見されたものであり、治癒する確率は高いと思います。



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは!
患者様に安心と満足を提供する医療
良質且つ効率的な医療の提供
患者様へのサービスの充実

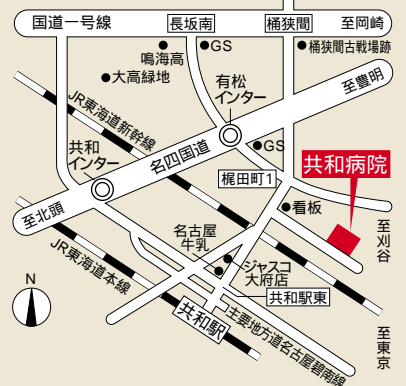
私たちが目指す『楽しい職場』とは!
毎日の出勤が楽しくなる職場
職員のレベルアップと仕事の充実が
感じられる職場
職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

わたしは、利用者の皆さまへより良い医療をやさしく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただくために努力しています。それには利用者の皆さまと医療者の意志の疎通が最も重要であると考えます。これを実現するために、わたしたちは思いやりのある、人格を尊重した医療を提供するとともに、以下のような医療を目指しています。

- あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
- あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
- あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
- あなたの医療上の個人情報は保護されます。

病院長 榎本 和



特定医療法人 共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)
URL <http://www.kyowa.or.jp/>

俳句コーナー

叩かれて
昼の蚊を吐く
木魚哉
漱石

名譽院長
加藤 邦之助

成る程と誰でもわかる内容です。そして俳句とはこ
ういうものかと思う人が多いのではありませんか。実は
江戸の田沼政権時代、狂歌で有名な大田南畝(別
号「四方赤良」)よものあから、蜀山人の「一語言」の中
に、叩かれて蚊を吐く昼の木魚哉」という句が既に出
ており、漱石がそれを知らない筈は無い様に思いま
すけど、一寸違った様にも思えます。唯、二人共生粋の江
戸っ子で文筆家で当時日本中に知られた知人であ
ったといふことではよく似ています。ついでにお話す
るなら、名古屋に出た有名な俳人横井也右の鶴衣(う
すらころも)を出版したのも大田南畝の功績だそうで、
現在ならこんな同じ様な句を後から作って発表して
も認められません。雑誌や新聞の入選句に既に発表さ
れた他人の句を出して入選取り消しの記事を時々見
ることがありますが、偶然同じ様な句のでも五・七・五の短い詩ですからあるかも知れませんが、
さて漱石の句と蜀山人の句とが違つてどうでしょうか。
前者は、昼の蚊が主語であり後者は、昼の木魚が主
語となり、句の深みが全く違つてきます。木魚の中で夜
活躍しようと休んでいる蚊が叩かれてびびり出して
くる……(漱石)、寺の本堂の薄暗い昼の木魚から蚊が
出てくる……(蜀山人)いかがでしょうか。